

第34回 神奈川母性衛生学会 学術集会

開催および一般演題募集のお知らせ

<http://kanabo34.umin.jp/>

皆様におかれましてはご健勝のことお慶び申し上げます。コロナ感染拡大のため第33回は中止といたしました。以下の日程で第34回として本学術集会を開催いたします。

メインテーマは「母と子を助ける」です。私たち産科医療に携わる者として、どの様に母児を助けるケアができるかを皆で考え、ディスカッションしたいと思っております。ためになる特別講演、教育講演プログラムを準備いたしましたので、一般演題の応募とともに、お誘いあわせの上ご参集いただければ嬉しく思います。

メインテーマ「母と子を助ける」

日時：2021年2月6日（土）9:00-18:00（予定）

場所：ワークピア横浜 〒231-0023 横浜市中区山下町 24-1 Tel: 045-664-5252

特別講演

母児急変現場で動けるために

亀田総合病院産婦人科 鈴木 真

教育講演

母体救急「母を助ける」

ハシイ産婦人科 橋井 康二

胎児新生児救急「子を助ける」

三重大学医学部産婦人科学教室 池田 智明

CTG判読とピットフォール

聖マリアンナ医科大学産婦人科学 長谷川 潤一

（★特別講演・教育講演はアドバンス助産師承認研修、産婦人科領域講習です）

海外で母と子を助ける（海外で活動している助産師による講演）

産科フィスチュラ問題に対する助産師の取り組み

産科フィスチュラ研究・啓発団体ララアース 代表・助産師 小笠原 絢子

ラオスの母子保健向上に向けた助産師としての活動

元 JICA 海外協力隊・助産師 大竹 恵実

主催：神奈川母性衛生学会理事長 宮城 悦子

（横浜市立大学医学部 産婦人科学教室 主任教授）

第34回学術集会会長

長谷川 潤一

（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授）

一般演題募集要項

【発表内容】

- ・メインテーマ「母と子を助ける」
母体・胎児・新生児の診療、救命にかかわる内容
 - ・女性の各ライフステージにおける健康や疾病に関する内容
 - ・母性・母子保健に関する内容
 - ・その他、症例報告など
- 同じテーマで複数の演題がある場合は、総合討論なども企画する場合があります。

【発表形式・演題登録】

口演発表（コンピュータープレゼンテーションです）

演題を出してみよう!と思った方は、<http://kanabo34.umin.jp/> より
応募フォームをダウンロードしてください。

フォームに演者名、演題名、施設名、連絡先、抄録（700字）を入力の上、以下の事務局まで
お送りください（演題登録の締切が10/31です）。

（こちらのフォーム以外では受け付けません）

【事務局】第34回神奈川母性衛生学会事務局

〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 産婦人科学医局内

演題担当：西村 陽子

電話：044-977-8111 Fax：044-977-2944

E-mail: kanagawabosei2021@gmail.com

